

“まちなか美術館”の構想について

沼津の中心市街地は、かつてビルが林立し人々が行き交い賑わっていました。

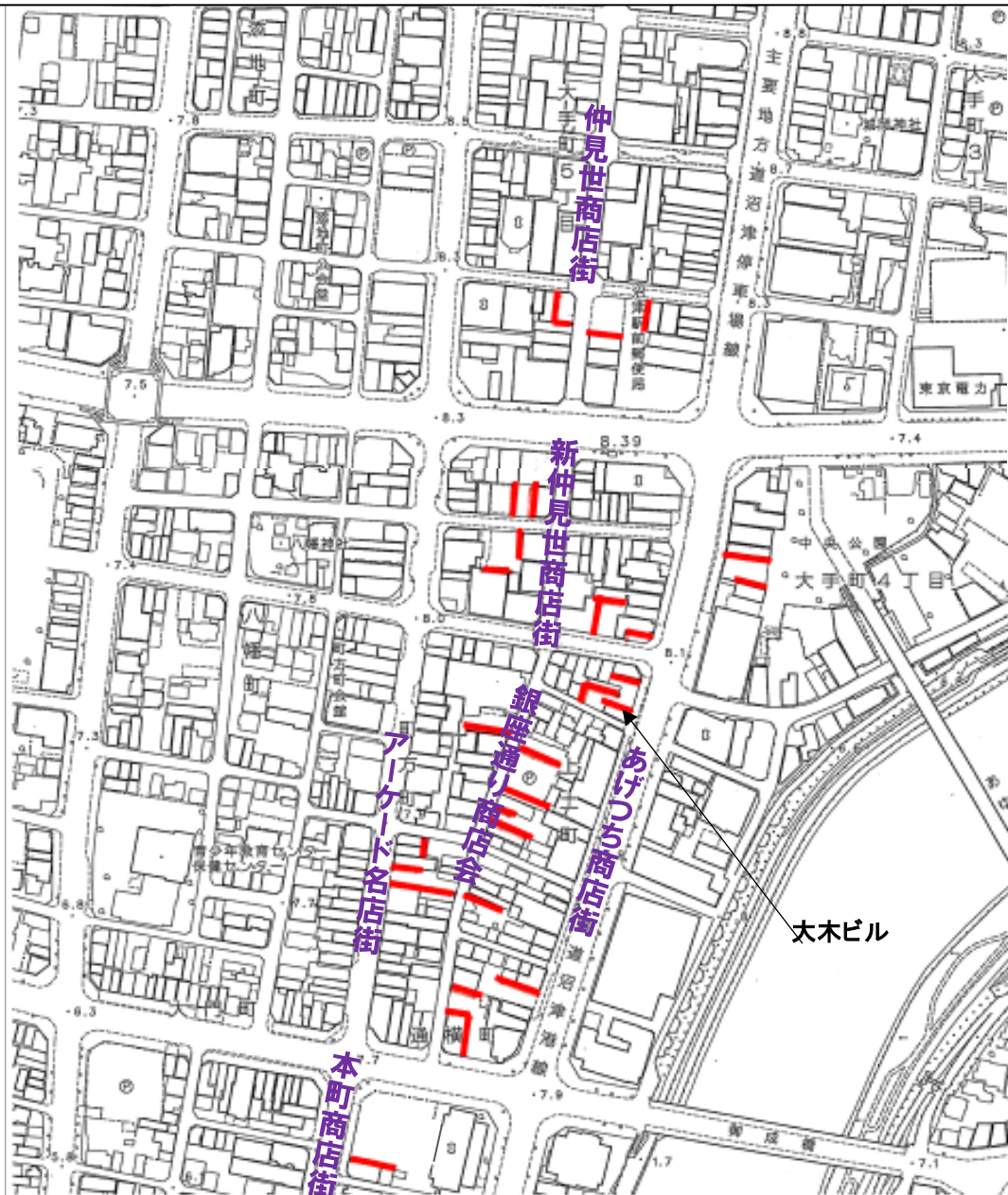
しかし現在、スポンジ化が進行し、ビルが歯抜け状に壊され、駐車場となって、コンクリート壁面で囲まれた味気ない空間となってしまっています。

このような壁が中心市街地に33箇所存在し、壁で囲まれた空間が17スペースあることがわかりました。

これらの壁をキャンバスに見立てて、アート作品を描いていけば街なか美術館になるのではないかと、味気ない壁が存在する街なかのマイナス面が、壁アートによってプラスに転じるのではないかと考えました。



これらの壁面を壁アートで描いていって“まちなか美術館”にしようと構想しました。



これらの壁面をもつビルの所有者の方々には、“まちなか美術館”構想をご理解していただいた上で、ご承諾を得る必要があります。